

令和6年度 こども家庭庁 母子保健指導者研修会

乳幼児健康診査に関する研修②

弱視・屈折検査

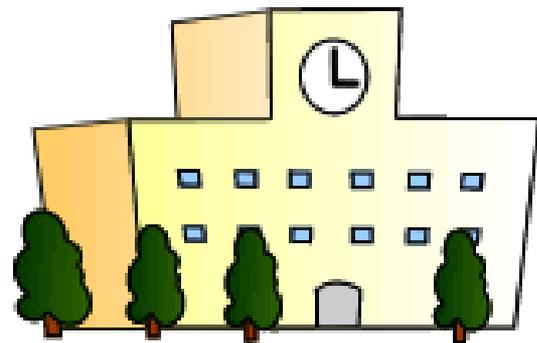


日本眼科医会 副会長
柏井医院 柏井真理子

**幼児期にしっかりと
視力を成長させることが大切です。**

3歳児健診での弱視見逃しを防ぐこと！

就学時には、1.0 の視力を！





こども家庭庁 健やか親子21

市区町村及び都道府県担当者のための

3歳児健康診査における視覚検査の円滑な実施と精度管理のための手引書

乳幼児期



乳幼児期

参考資料

乳幼児期

乳幼児健診

▶ 乳幼児健康診査事業実践ガイド改訂版

専門職向け

自治体向け

市区町村が実施する乳幼児健診事業の企画、運営から評価の実践方法および多職種が連携する保健指導について、保健師をはじめとするすべての乳幼児健診事業の従事者、市区町村を支援する都道府県の関係者を対象としたガイドです。

▶ 乳幼児身体診察マニュアル

専門職向け

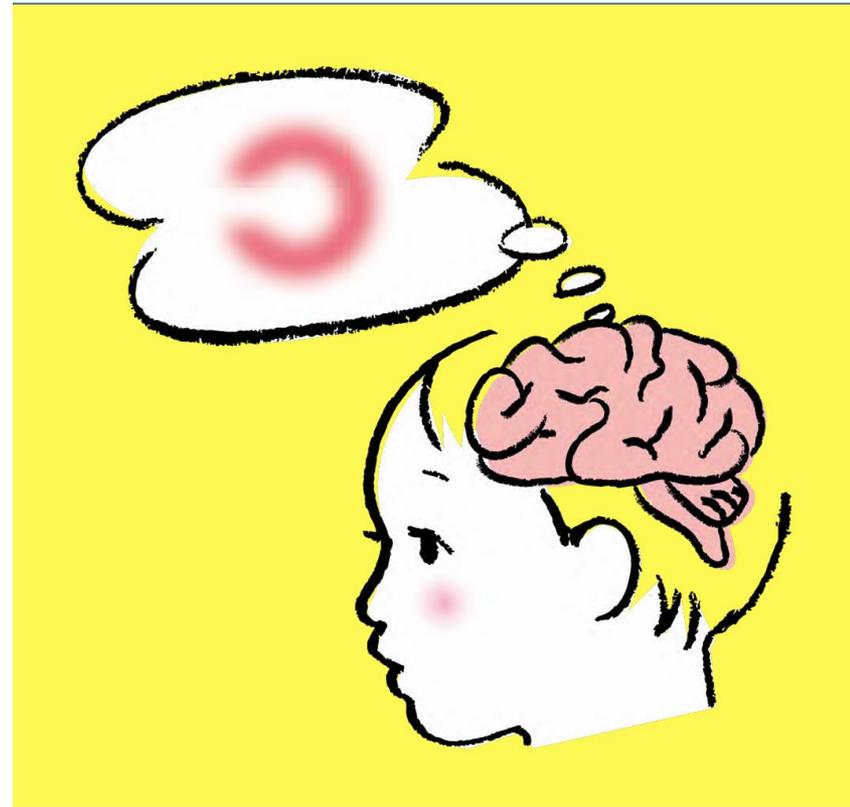
自治体向け

乳幼児健診事業で診察に従事する医師を主な対象として、厚生労働省が示している標準的な診察項目に基づいて、具体的な実施方法を記載したマニュアルです。

▶ 【令和4年度成果物】3歳児健診における視覚検査の円滑な実施と精度管理のための手引き等

自治体向け

- ・市区町村及び都道府県担当者のための「3歳児健診における視覚検査の円滑な実施と精度管理のための手引書」
- ・様式例1
- ・様式例2
- ・様式例3
- ・様式例4
- ・事例集
- ・情報提供リーフレット（トンボあり）
- ・情報提供リーフレット（トンボなし）



本日の主な話

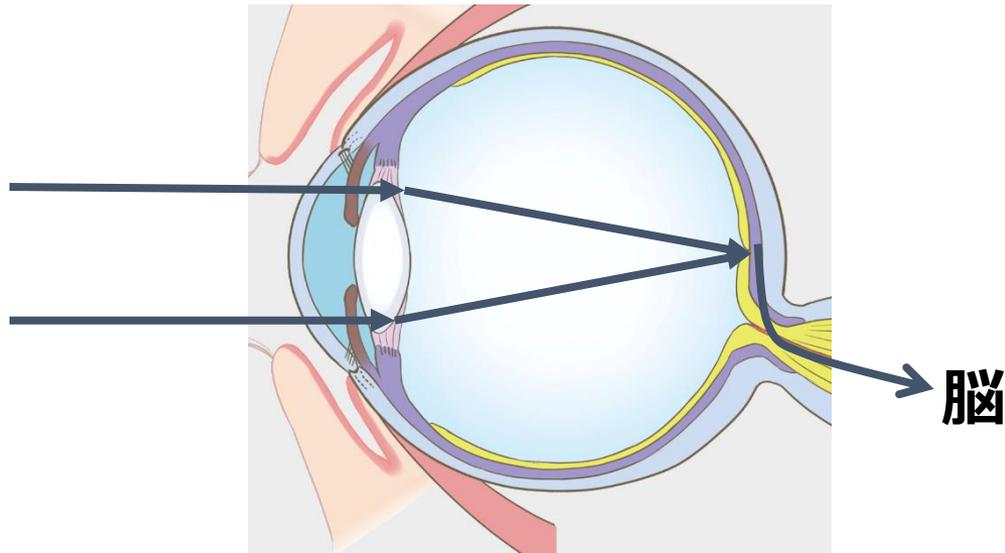
- 1 弱視
- 2 屈折検査
- 3 3歳児健診視覚検査
- 4 今後、めざすべきこと

弱視について

視機能の発達

目が見えるとは・・・

角膜⇒水晶体⇒網膜 ⇒ 視神経 ⇒ 脳



目から**80~90%**の情報を得ると言われる

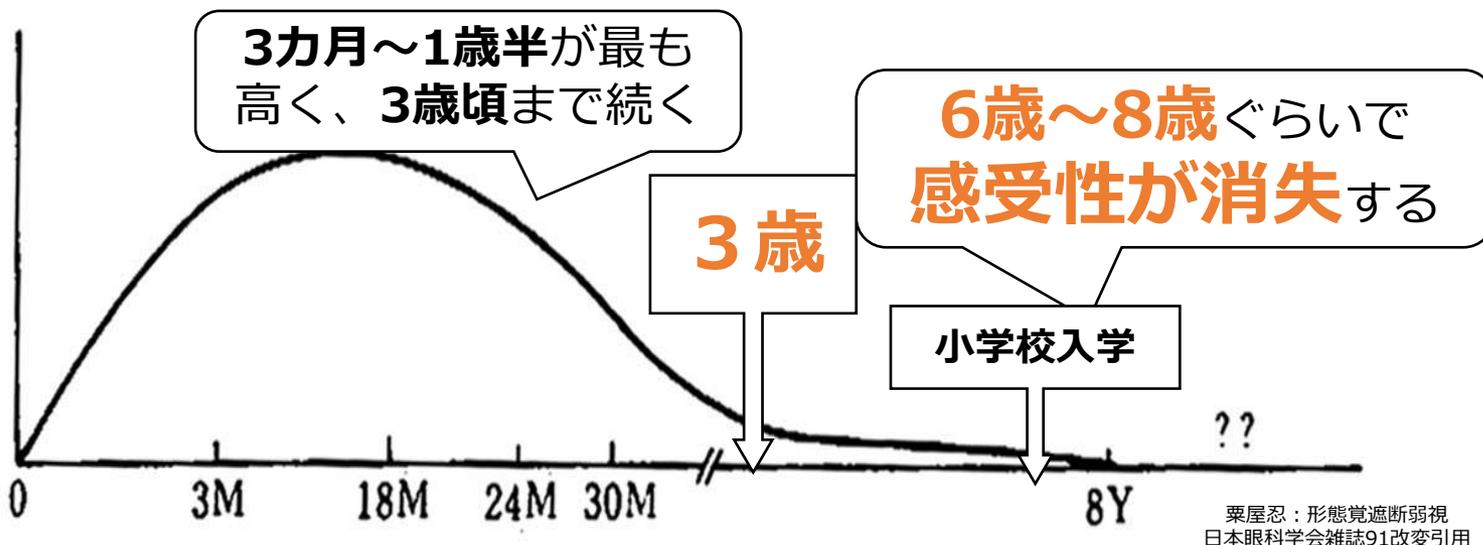
「視力」の発達



「脳」の発達



視覚の感受性期間（脳が反応する時期）



視覚発達には**タイムリミット**があり
手遅れになると**一生弱視**に

弱視は**小学校入学**までに治療を完了へ

視力発達目安

ほとんど
見えないよ

3歳までに視力は
急速に発達するよ！

1.0
見えるよ

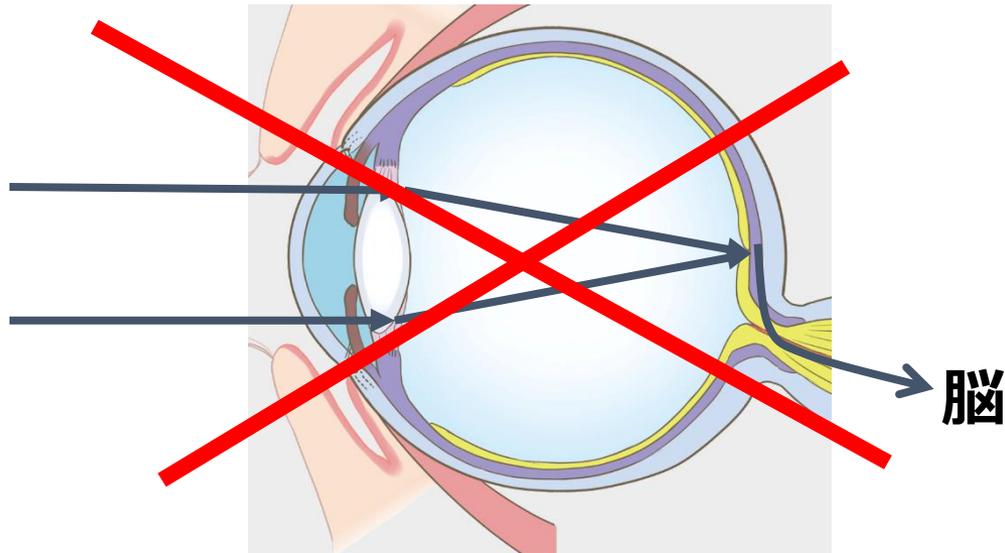


小学校入学までに視力は成長して1.0見える

視機能の発達

目が見えるとは・・・

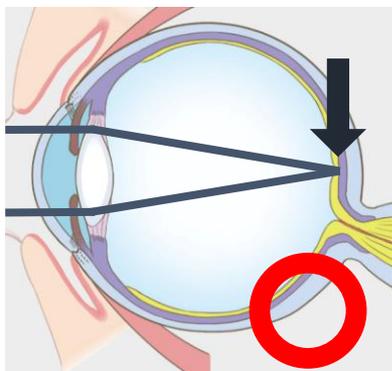
角膜⇒水晶体⇒網膜 ⇒ 視神経 ⇒ 脳



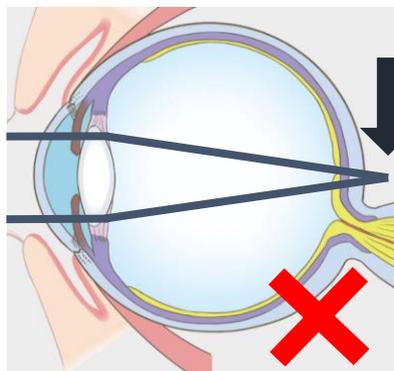
目に適切な刺激がうまく入ってこない⇒視力の発達停止

弱視とは

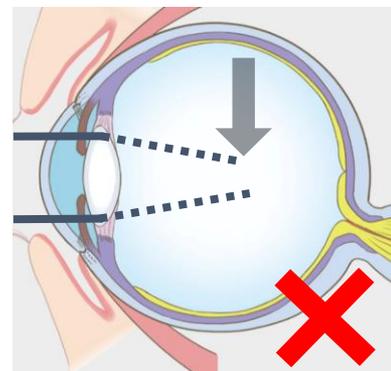
メガネ・コンタクトをしても
1.0 が見えない病気



正常



強い遠視・乱視



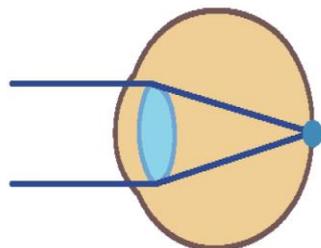
白内障など

弱視の割合は約50人に1人

(参考) 屈折異常 と 屈折度数

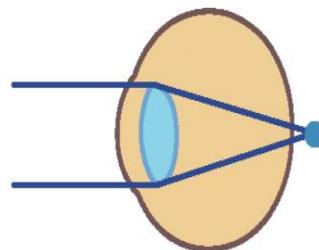
近視は**焦点が前**にずれています。遠視は**焦点が後ろ**にずれています
網膜にぴったり焦点を合わせるためにレンズ（いわゆる眼鏡のレンズ）を使用します。
補正するための**レンズの度数をD（ディオプター）**と表します。
原則 **遠視は+（プラス）** **近視は-（マイナス）**で表現します。
ピントが合っている時は0となり、ずれが大きいほど数字は大きくなります。
乱視は同じくピントのずれの程度と角度で表現します。

正視



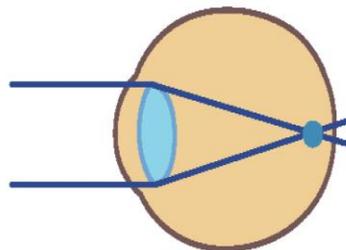
網膜上に焦点を結ぶ

遠視



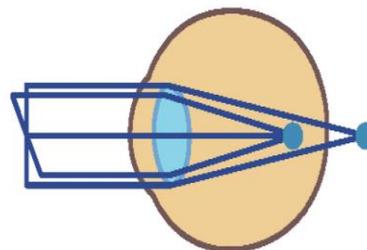
網膜の後ろに焦点を結ぶ

近視



網膜の前で焦点を結ぶ
近くを見る時は網膜に
焦点を結ぶ

乱視



焦点が1点に結像しない
(上下や左右にぶれる)

正視と屈折異常の種類

弱視の種類

屈折異常弱視

不同視弱視

斜視弱視

形態覚遮断弱視

3歳児健診で
見つけるべき弱視

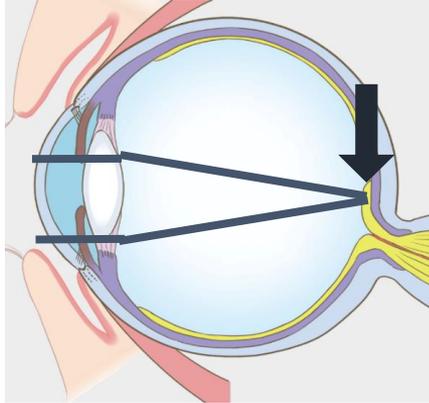
屈折異常弱視

強い遠視や**乱視**があると
いつも物をぼんやりとしか見ることができず
視力の発達が停滞する
これが**両眼**ほぼ同じような状態で見られる

※ 弱い遠視・乱視は、調節力で焦点をあわせられる

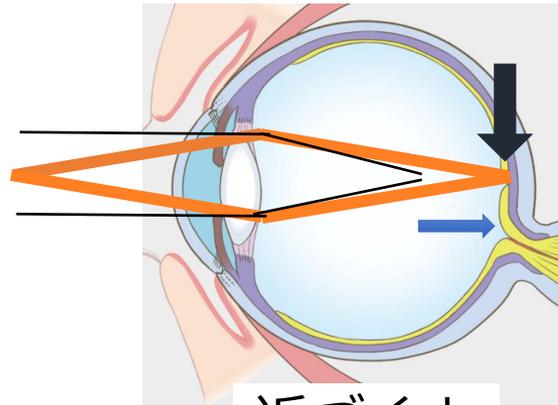
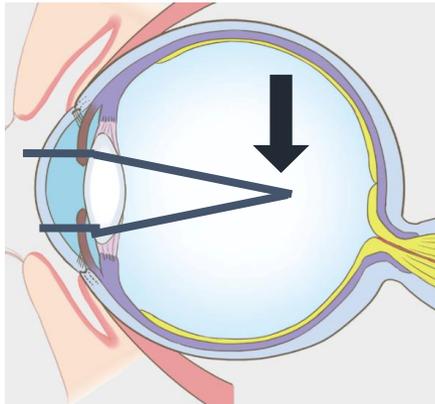
正視と近視

正視



網膜に鮮明な像が映ることによって
視力が発達する

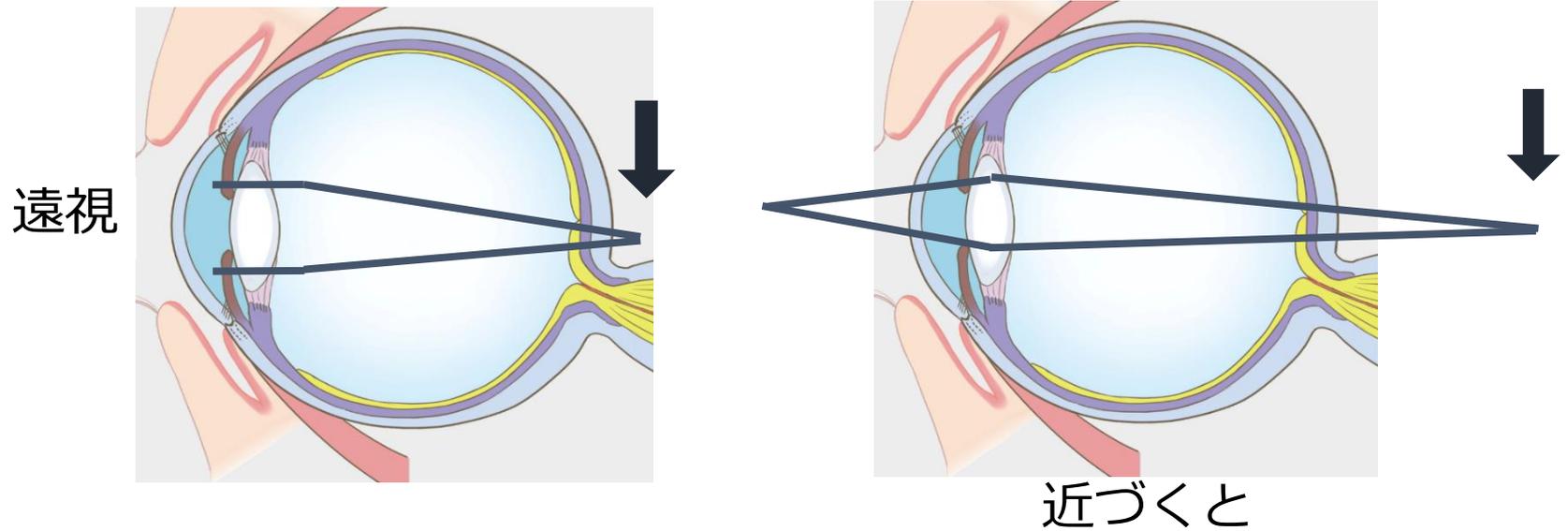
近視



近づくと

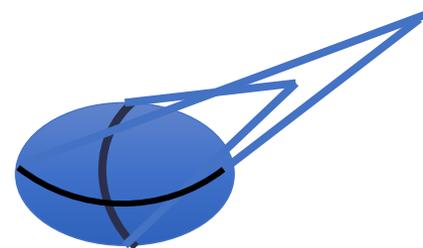
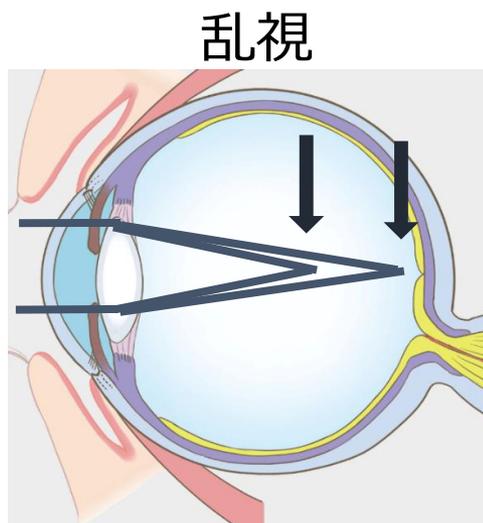
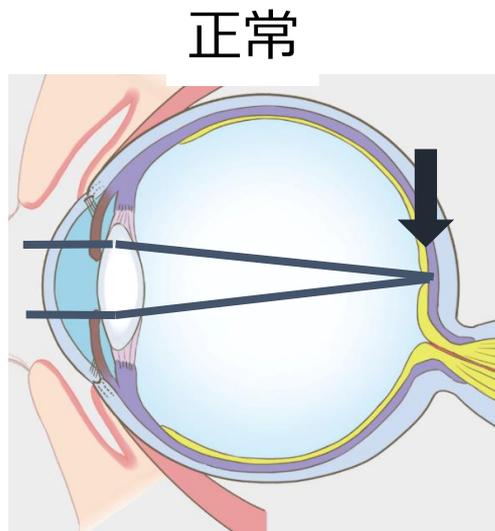
近視は弱視になりにくい

弱視の原因としての遠視



遠視・・・近づいてもさらに焦点が後ろに行ってしまう
網膜像がぼやけてしまうので 弱視になりやすい

弱視の原因としての乱視



乱視・・・角膜が球面ではなく、いびつな形！
光が入った方向によって焦点がずれているため
網膜像がぼやけてしまい 弱視になりやすい

弱視の種類

屈折異常弱視

不同視弱視

斜視弱視

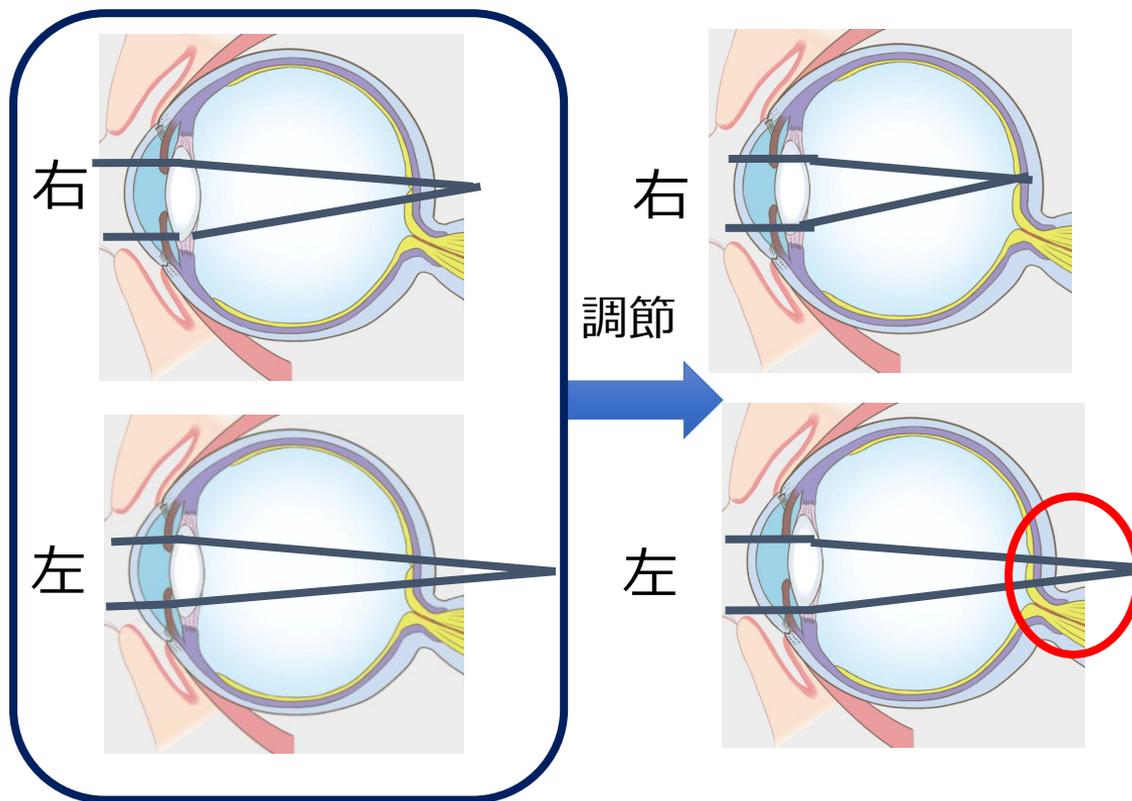
形態覚遮断弱視

不同視弱視

特に片眼だけの強い遠視や乱視による弱視は
最も気づかれ難いので要注意

弱視の原因としての遠視性不同視

* 不同視・・・左右の目の遠視・近視・乱視度数に大きな差のある状態

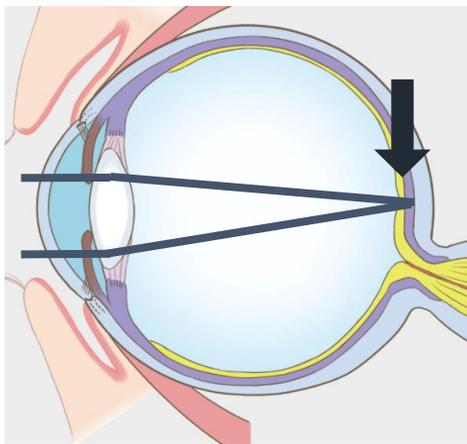


調節すると遠視の弱い
上の方の目はピントが合う

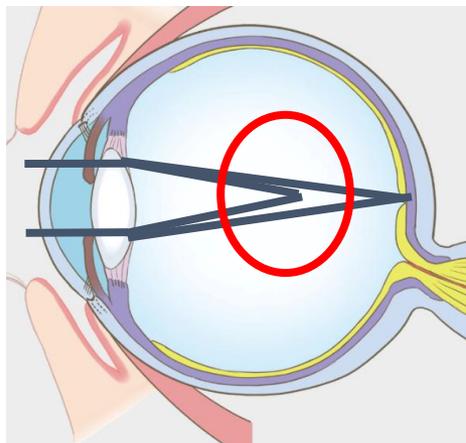
ところが調節は左右同じに
働くため、下の方の目は
ピンボケのまま残ってしまう

このため遠視の強い方の目の
網膜像が不鮮明になり
弱視になる

弱視の原因としての乱視による不同視



正視



乱視

片方の眼に強い乱視があると、
そちらの目の網膜像はぼやけて
しまう

このため、乱視の強い目の
視力発達が遅れてしまい
弱視となる

屈折異常弱視 不同視弱視



強い遠視や乱視（屈折異常）が原因で
視力発達が停滞して起こる



視力不良の発見と同時に
屈折異常の発見が重要

弱視の種類

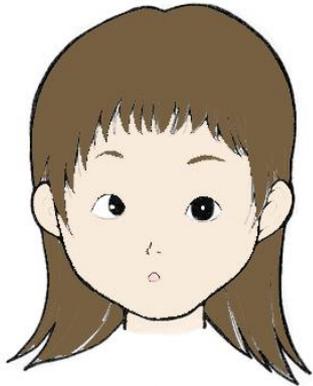
屈折異常弱視

不同視弱視

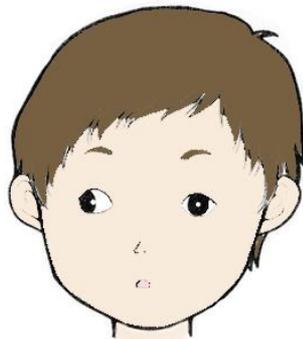
斜視弱視

形態覚遮断弱視

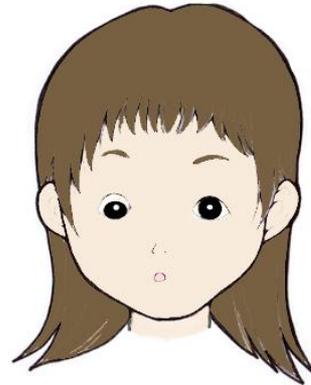
斜視弱視



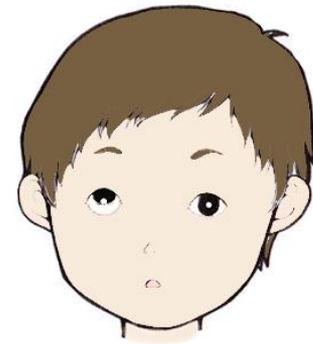
内斜視



外斜視



下斜視



上斜視

斜視では右眼と左眼の映像がずれる
左右眼が同時に脳に異なる情報を伝達をすると
頭が混乱するため、**片眼の映像をシャットダウン!**

使用しない眼が弱視になる!!

弱視の種類

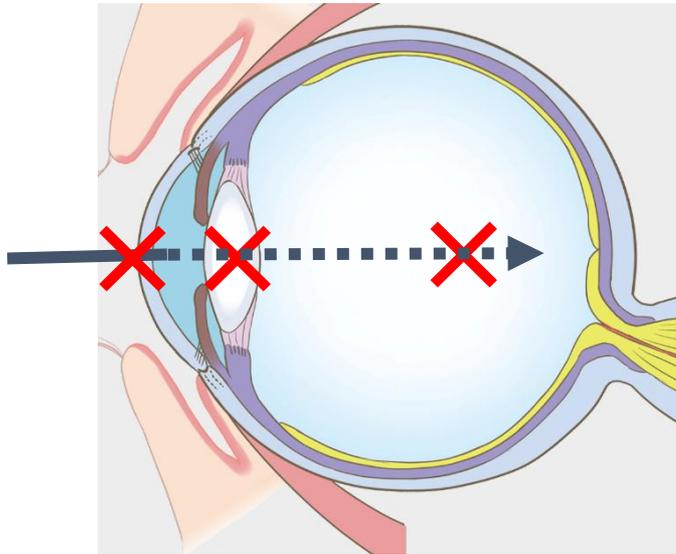
屈折異常弱視

不同視弱視

斜視弱視

形態覚遮断弱視

刺激が遮断される形態覚遮断弱視



■ 先天白内障
(白色瞳孔)



■ 網膜芽細胞腫
(白色瞳孔)



■ 先天緑内障
(牛眼・角膜混濁)



日本視能訓練士協会「目の健康チェックシート」

網膜に像を結ぶ前に、光線を遮るような目の病気があると、網膜にピントの合った映像が映らず、脳に信号を送ることができない

■ 先天性眼瞼下垂

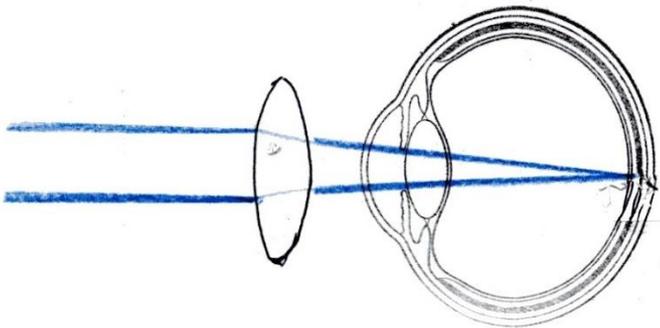
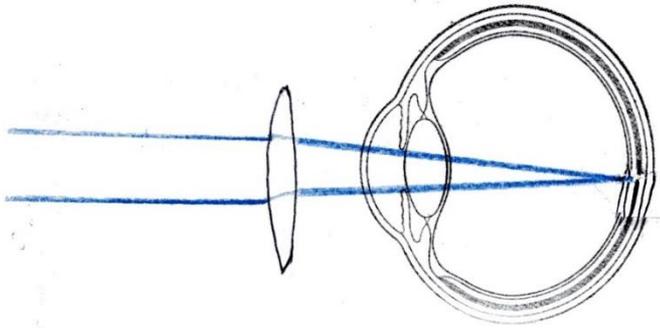
■ 角膜の混濁

■ 長期間の眼帯など

先天白内障や網膜芽細胞腫、先天緑内障などは緊急性あり

治療は「くっきり見る機会を作る」

基本は眼鏡装用と健眼遮閉



治療は「くつきり見る機会を作る」

屈折異常弱視：主に遠視・乱視

⇒ 適切な**メガネ**をかけさせる

不同視弱視 ⇒ 適切な**メガネ**をかけさせる

必要な場合、視力の良い目を**アイパッチ**で隠し、
視力不良の目を使う訓練を！



斜視弱視 ⇒ **メガネ**、**訓練**、**斜視手術**を組み合わせる

形態覚遮断弱視 ⇒ 原因疾患の治療（手術等）

弱視（屈折異常等による）

一生涯、十分な視力が出ない状態

しかし

3歳児健診で早期発見し

治療すれば視力は獲得できる



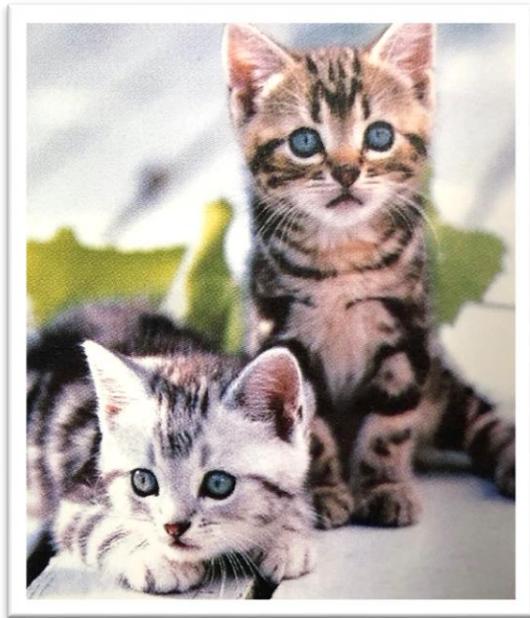
しかし・・・弱視の発見は難しい

- ✓ 自覚がない
- ✓ 幼児は視力が0.2～0.3程度あれば不自由なく行動できるので、親は気づかない
- ✓ 片眼の視力が良好であれば生活に支障がない

弱視はスクリーニングで
発見する必要がある

幼児は視力が**0.3程度**あれば、
生活に不自由なく、気付かない

視力 1.0



視力 0.3



出生時から
ぼやけている



見え方に
違和感なし



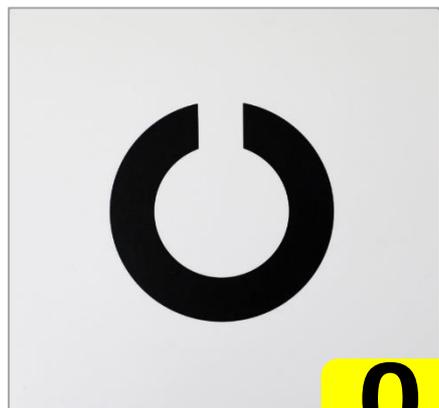
不自由なし

3歳児健診での弱視見逃し

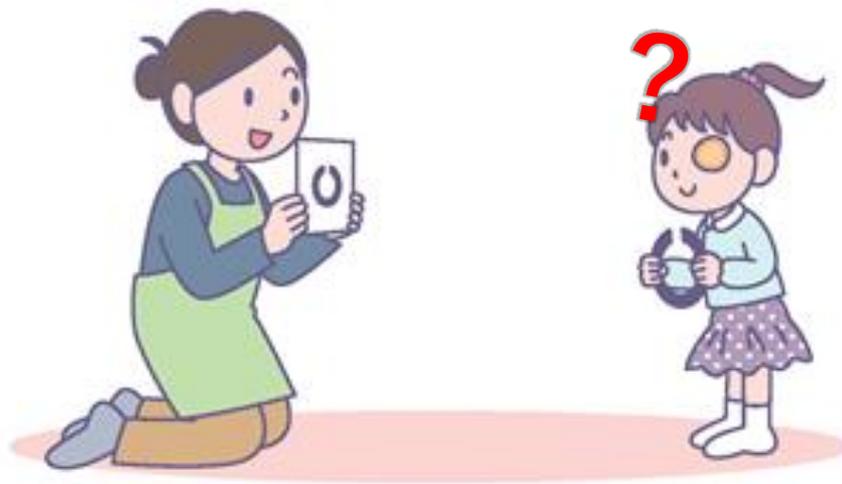
なぜ見逃してしまうのか・・・

家庭での**視力検査の精度が悪い**

家庭での検査には**限界**がある



0.5



どうすれば 3歳児健診で 弱視をしっかりと発見できるか？

視力測定できた子にも
視力測定できない子にも

全員に
他覚的 屈折検査を
実施すればよい！



屈折検査について

眼科医療機関での屈折検査

- 場所をとる、持ち運び困難、時間がかかる
- 携帯型は操作が難しい



据え置き型屈折計

<http://www.topcon.co.jp>



携帯型屈折計

<http://www.righton-oph.com>

新たな屈折検査

新しいフォトスクリーナが登場（2015年）
屈折値と斜視角を同時測定

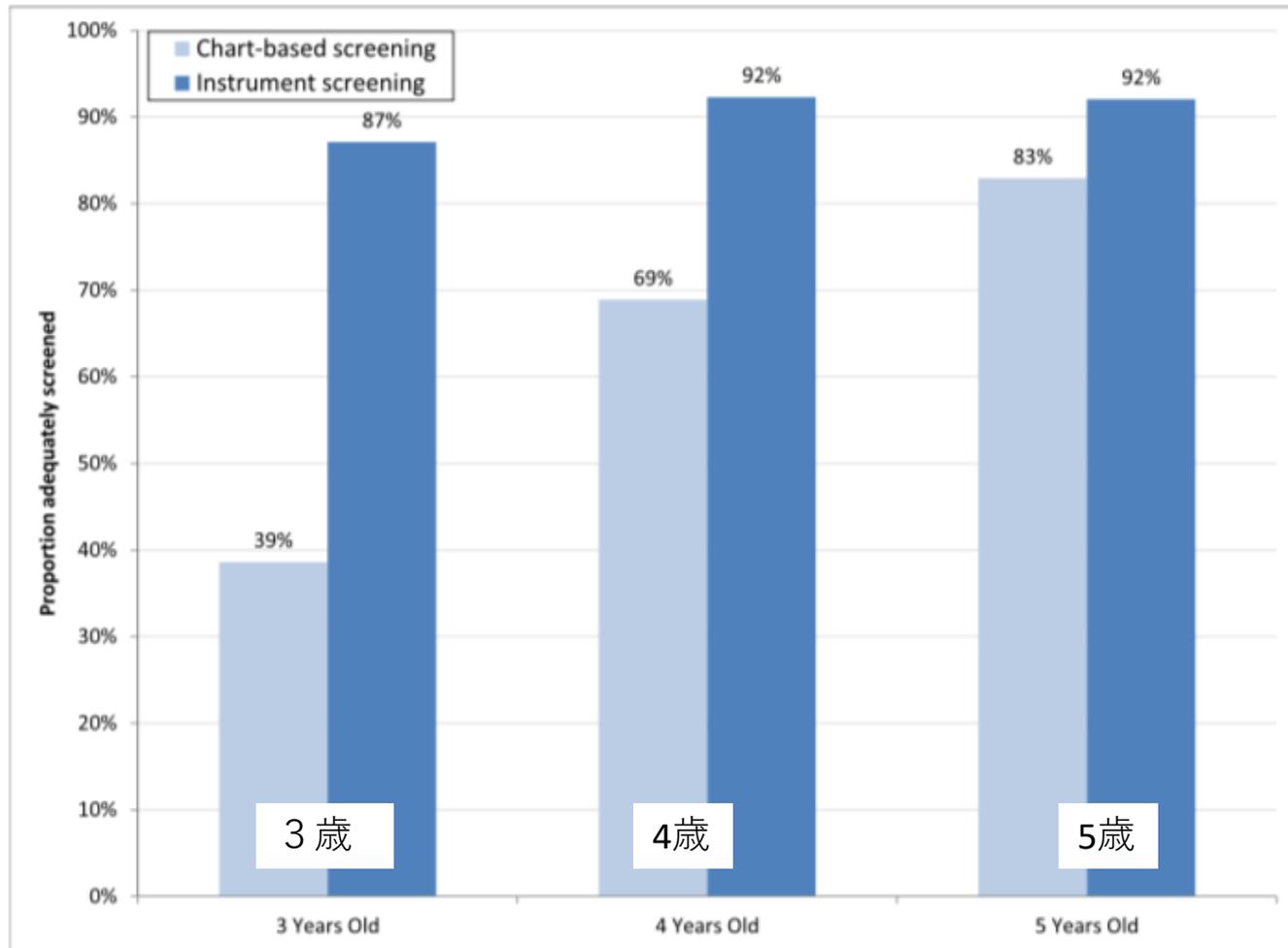


子どもの応答に左右されない

客観的に視機能障害を推測できる

（弱視の原因になる遠視・乱視の検出）

フォトスクリーナーと視力検査の検査可能率の比較



スポット ビジョン スクリーナー (SVS) の場合

検査開始



「3歳～5歳」を選択し
開始を押すと自動測定が始まる



両目の瞳に
光の反射が映る



数秒から10数秒
で検査が終了し
自動判定



被検者側からの見え方
小鳥のさえずり音がして
カラフルに光る



異常なしの場合



スクリーニング
完了

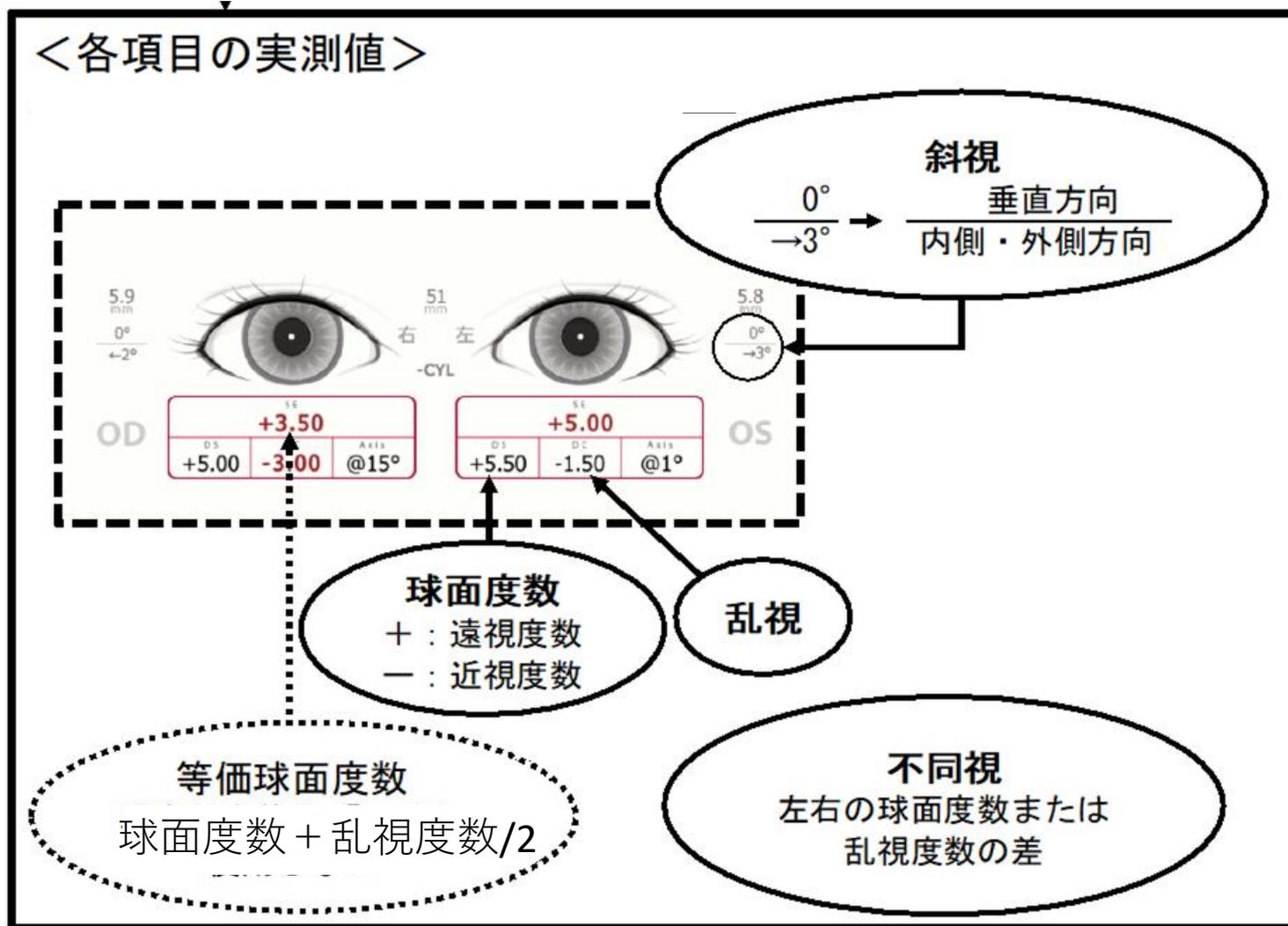
異常判定の場合



目の精密検査が
推奨されます

(参考)

SVSの検査結果票の見方



SVSの基準値

現時点では、自治体の判断でどの基準を用いてもよい

基準	自動判定の利用	屈折 (D: ジオプター)						斜視 (度)		
		遠視 等価球面度数	近視 等価球面度数	遠視 球面度数	近視 球面度数	乱視	不同視	垂直 方向	内側 方向	外側 方向
現行基準	可能	+2.50	-1.25	-	-	-1.75	1.00	8	5	8
学会推奨基準	可能※	+2.50	-2.00	-	-	-2.00	1.50	同上		
球面度数基準	不可	-	-	+2.00	-2.00	-2.00	2.00	7		

※ 学会推奨基準値：現行基準値より特異度が高くなるよう設定された基準値

→ 今後 各自治体のデータを集約し最も適切な基準値決定が望まれる

SVSで何ができるか？

SVSで視力は測れない！

弱視リスクファクター を検出する

- 1) 屈折異常
(遠視、乱視、近視、不同視)
- 2) 斜視
- 3) 形態覚の遮断

SVSが計測するのは、1)と2)
3) の場合、検査が終わらない場合がある

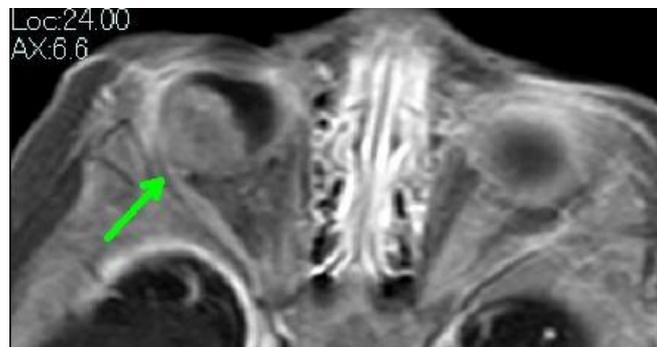
両目または片目でのスクリーニングが完了しない場合
(時間制限なしと設定しても測定が終わらない)

早急に眼科医療機関へ！

**理由：網膜からの反射光を測定しているので、
眼器質疾患や強い屈折異常があると、両眼同時測定が
できないことがある**



網膜芽細胞腫（白色瞳孔）



3歳児健診 視覚検査について

3歳児健診屈 折検査導入における要治療児発見率

① 松江市におけるスポットビジョンスクリーナー導入の成果

導入前 **0.6%** → 導入後 **3.6%**

野田ほか. 松江市3歳児眼科健診の過去11年間の結果報告
眼科臨床紀要 13,2020,357-60

② 群馬県全県下におけるスポットビジョンスクリーナー導入の成果

対象者：3歳児健診対象児10,798名 受診率97.8%

導入前 **0.1%** → 導入後 **2.3%**

板倉ほか. 群馬県3歳児眼科健診における手引きに
準じた屈折検査導入の成果. 臨床眼科. 75,2021,891-7

③ 静岡市におけるプラスオプティクス導入の成果

対象者：3年間の3歳児健診対象児14,520名 受診率97.1%

導入前 **0.3%** → 導入後 **2.3%**

静岡市三歳児健康診査 視覚検査 第2報 -
日本眼科紀要13巻3号：172-177, 2020

3歳児健診の標準化・精度向上

日本眼科医会

3歳児健診における
視覚検査マニュアル

全国自治体に配布

全国どこでも精度の高い
3歳児健診を！

屈折検査を
導入しましょう！



母子保健対策強化事業

令和6年度予算：母子保健医療対策総合支援事業費補助金 6.7億円（6.7億円）
【令和4年度創設】

目的

両親学級のオンライン実施やSNSを活用したオンライン相談など、妊産婦等のニーズに応じたアクセスしやすい多様な相談支援を行うとともに、母子保健に関する記録を電子化することで、妊産婦等の状態を適切に管理するなど、必要な支援が行われるよう体制強化を図る。また、都道府県による成育医療等に関する協議会の設置や、市町村が実施する各種健診の精度管理などの広域支援の推進等を実施する。

内容

市町村事業

①母子保健に関するデジタル化・オンライン化等体制強化事業

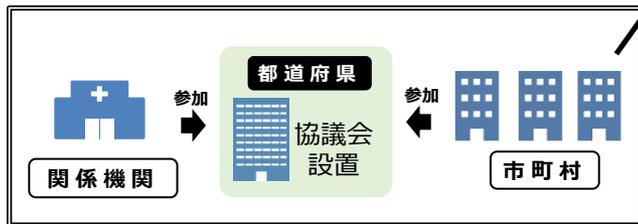
個々の家庭の状況に応じて、適切な支援を提供できるよう、地域の実情に応じた支援体制等の強化を図る。

- (1) 両親学級等のオンライン実施
- (2) SNSを活用したオンライン相談
- (3) 母子保健に関するデジタル化（記録の電子化等）
- (4) 各種健診に必要な備品（屈折検査機器等）の整備
- (5) その他母子保健対策強化に資する取り組み

都道府県事業

②母子保健に関する都道府県広域支援強化事業（R5～）

- (1) 成育医療等に関する計画の策定や協議会の設置、ニーズ把握や研修会の実施、普及啓発等の広域支援の実施。
- (2) 各市町村の健診等の精度管理などの支援



都道府県において、**成育医療等に関する協議会を設置**するとともに、協議会による検討・決定なども踏まえ、母子保健（各種健診や産後ケア事業など）に関する広域支援を実施

【協議会の検討内容（例）】

- ・都道府県、市町村の「成育医療等に関する計画」の策定に関すること
- ・母子保健事業に関する**実施体制の整備や委託先の確保**に関すること
- ・母子保健事業に関する**委託内容（契約金額など）の統一化**に関すること
- ・健診に係る人材確保や医療・福祉等の支援体制の広域的な調整に関すること

実施主体・補助率等

- ◆ 実施主体：都道府県、市町村
- ◆ 補助率：①国1/2、市町村1/2 ②国1/2、都道府県1/2
- ◆ 補助単価：①6,043千円
②(1)2,373千円 (2)10,000千円

事業実績

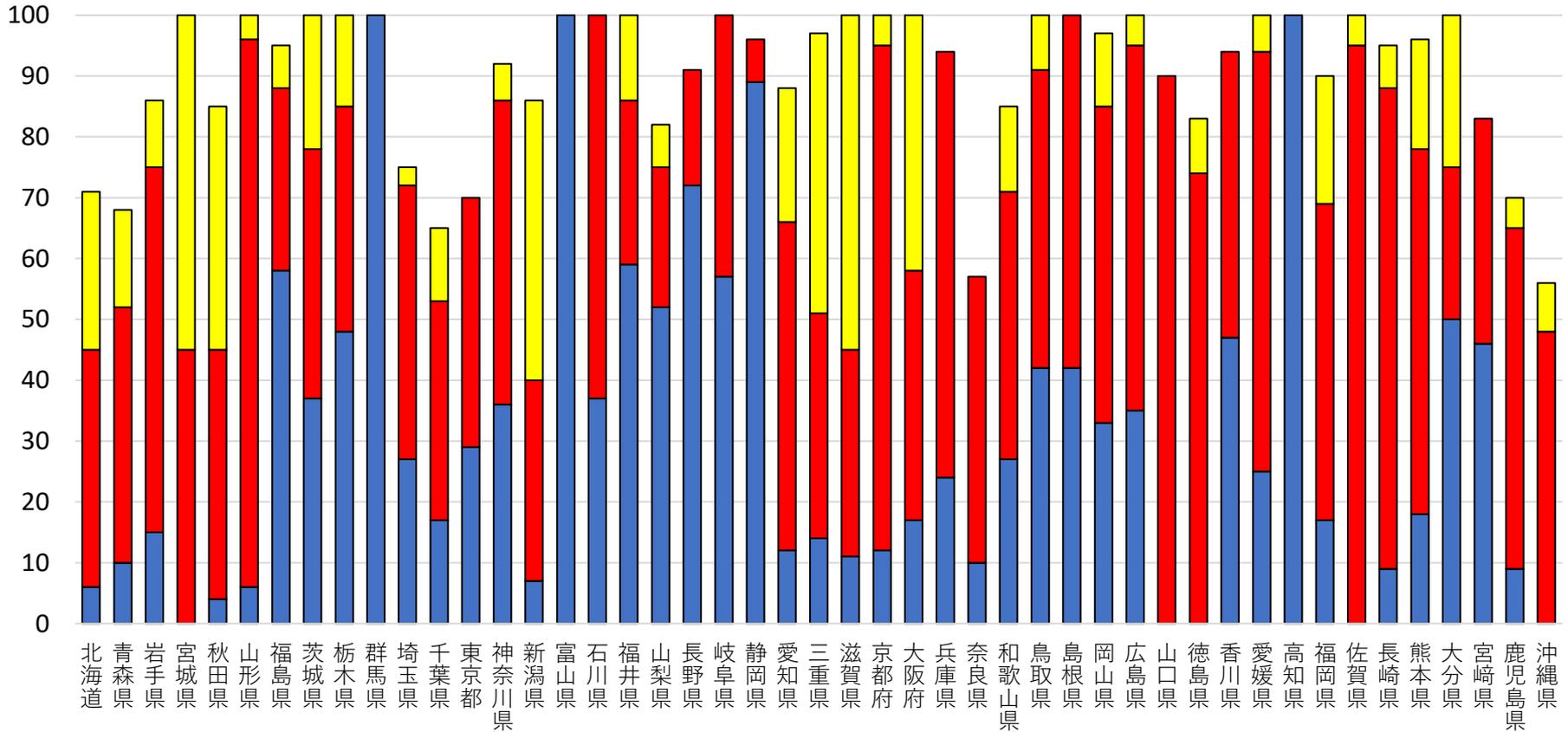
- ◆ 実施自治体数：609自治体
(12都道府県、597市町村)
※令和5年度変更交付決定ベース

3歳児健診における屈折検査

全国平均 85.7%

令和5年度 都道府県別実施率 (2023/8)

■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年



屈折検査を導入した3歳児健診フローチャート

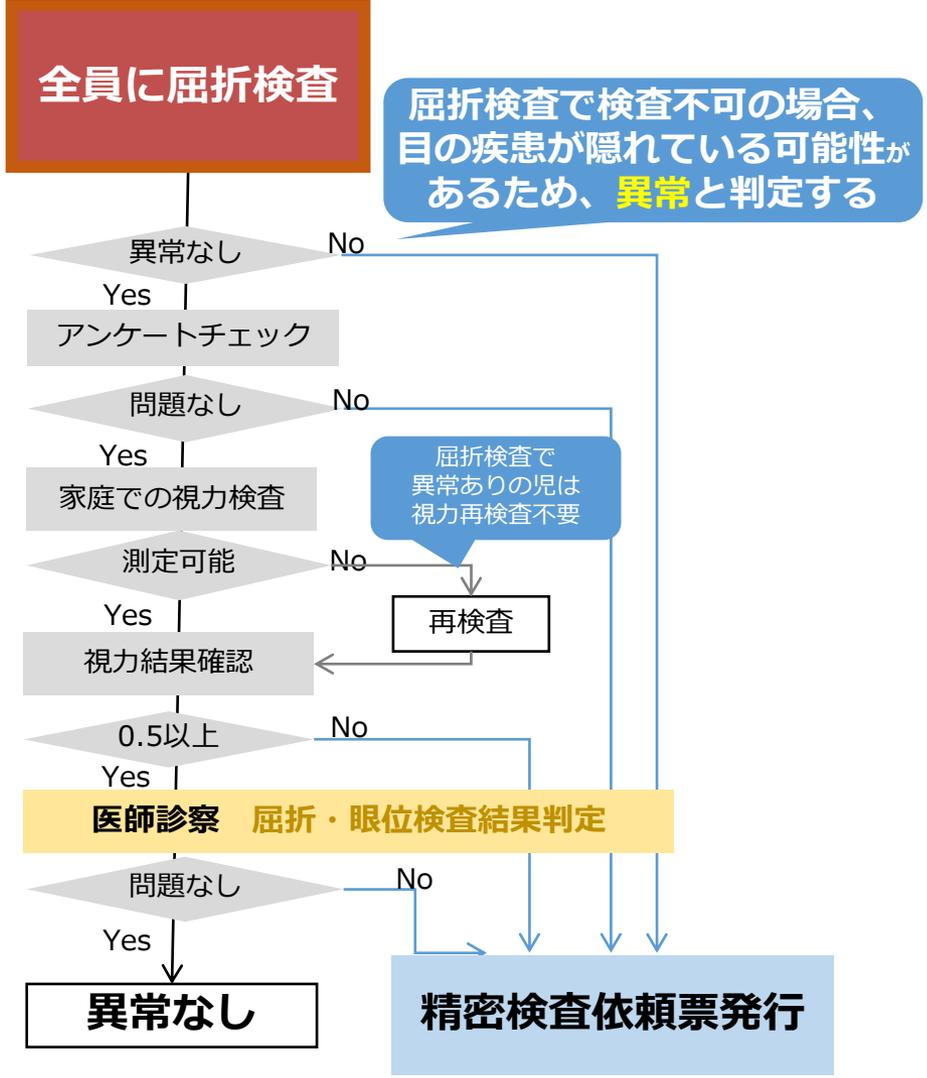
1. 一次検査（家庭）

- ① アンケート方式による問診
- ② 視力検査
2.5mの距離で視力0.5に相当
ランドルト環（一部で絵視標）
左右眼の視力を保護者が検査

2. 二次検査（健診会場）

- ① 受診児全例に屈折検査
- ② 問診票の回収・確認
- ③ 視力検査結果の回収・確認
→ 左右眼とも0.5以上でなければ
視力の再検査
- ④ 医師の診察と総合判断
→ 精密検査受診勧告

3. 眼科精密検査（眼科医療機関）



- 1) 視診にて異常所見がある
- 2) 固視の異常がある
- 3) 斜視がある、あるいはその疑いがある
- 4) 眼球運動異常がある
- 5) 問診票に1つでも該当項目がある
- 6) 二次検査で視力の再検査を実施した結果、左右いずれかでも視力が0.5に満たない、もしくは検査不能
- 7) 屈折検査を導入している場合
 - a. 異常判定基準に該当する
 - b. 検査ができない
 - c. 検査に協力的でも測定不能

母子健康手帳へ結果を記入

令和5年度より3歳児健康診査の項目に
「屈折検査」が新設された

■目の異常

(眼位・視力・その他) : なし・あり・疑 ()

■屈折検査

未・済 (実施 (異常なし 異常あり **判定不可**) 実施不可)

要精査 (精密検査受診日 : 年 月 日)

3歳児健康診査											
(年 月 日実施・ 歳 か月)											
体 重	. kg		身 長	. cm							
栄養状態：ふとり気味・普通・やせ気味											
目の異常 (眼位・視力・その他) : なし ・あり・疑 ()											
屈折検査 未・ 済 (実施 (異常なし 異常あり) 判定不可) 実施不可)											
耳の異常 (難聴・その他) : なし・あり・疑 ()											
予防接種 (受けているものに○を付ける。)	Hib 小児肺炎球菌 B型肝炎 ロタウイルス ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ BCG 麻しん 風しん 水痘 日本脳炎										
健康・要観察											
要精査 (精密検査受診日 : 年 月 日)											
歯 の 状 態	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	むし歯の罹患型：O A B C ₁ C ₂ 要治療のむし歯：なし・あり (本) 歯の汚れ：きれい・少ない・多い 歯肉・粘膜：異常なし・あり () かみ合わせ：よい・経過観察 歯の形態・色調：異常なし・あり () (年 月 日診査)
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	
特記事項											
施設名又は 担当者名											
次の健康診査までの記録 (自宅などで測定した身長・体重も記入しましょう。)											
年 月 日	年 齢	体 重	身 長	特記事項	施設名又は 担当者名						
		. kg	. cm								
※むし歯の罹患型 O：むし歯なし A：奥歯または前歯にむし歯 B：奥歯と前歯にむし歯 C ₁ ：下顎前歯がむし歯 C ₂ ：下顎前歯やその他にむし歯											

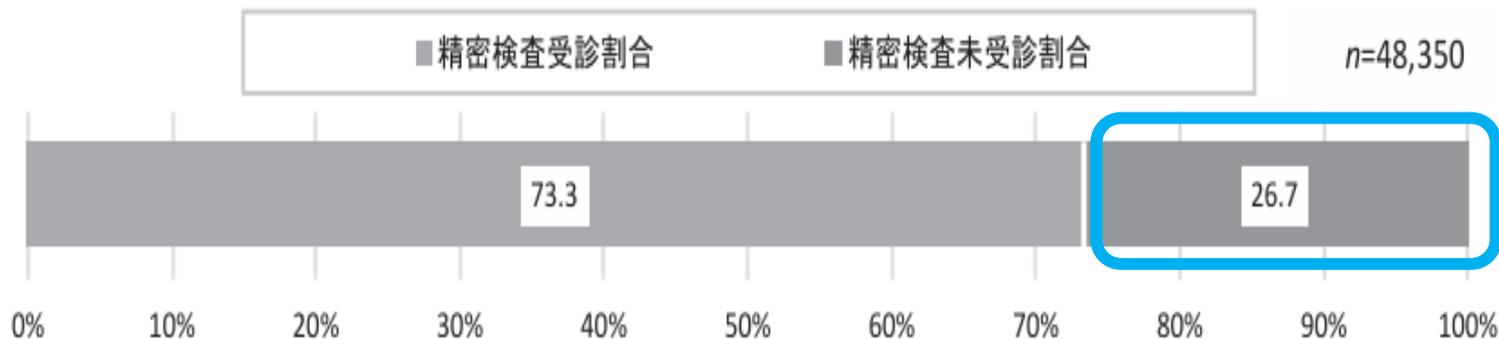
問題点

日本眼科医会全国調査

3歳児健診で要精密検査を指示されるも眼科受診しない・・・4分の1以上

→弱視の理解乏しい？

●精密検査受診割合



	分母の合計人数	分子の合計人数	割合
精密検査受診割合(4÷3)	48,350	35,427	73.3%

眼科精密検査未受診を減らそう

なぜ受診しないのか・・・

- 子供が見えにくさを自覚していない
- 視覚発達にはタイムリミットがあることを知らない
- 弱視・斜視について知らない
- 落ち着きがないため、精密検査は難しい

緊急性を感じない！

屈折異常を指摘されると眼科受診に繋がりがやすい

要精検児の保健指導

指導のポイント

- 弱視のこどもは50人に1人
- 本人も家族も気づかない
- “弱視”は単なる近視や遠視と全く違う
- 弱視とはメガネをしても視力が不良である
- 視力の発達 = 脳の発達であり“3歳のいま”であれば、メガネなどの治療によって視力を発達させることが可能である
- 見え方に不自由がないようでも速やかに眼科を受診する
- 多言語版（英語・中国語・ポルトガル語）も活用する

本人もご家族も気づかないものです。
もともとよく見えていたものがぼんやりとしみじみ弱くなって来た
「最近視力が下がった」と気づくでしょうが、それは近視や遠視、
こどもの視力は誕生時から「高ぶらう」かけて発達し、
の成長期で成長します。弱視が弱かたり、片目の視力に問題が起って、
それなりに見えているので、本人は弱視を知らないものです。

3歳児の弱視は
見逃されがち。
こどもの50人に
1人は弱視です。



弱視とは、
視力の発達が
途中で
止まること。

目だけでなく、
脳の発達も必要です。
視力は、目だけの能力ではありません。
目から受け取った情報の理解も、脳が処理する
能力とセットです。脳は目から来る情報に刺激を受けて
発達します。ピン트가合った情報は脳に送られないと、
脳の見る機能が十分に発達しません。

3歳児健康診査の結果、弱視の可能性がります。
速やかに眼科を受診しましょう。

3歳から治療することを、
強くおすすめする理由。

弱視の治療って何するの？
弱視を改善すると、脳の見る機能の発達も止まってしまう。
弱視のほとんどは、治療の効果がなくてピン트가合った
状態にすることで、脳が鍛えられ、視力が発達していきます。
3歳で治療を開始したこどもの多くが、小学校入学までに
めがねを常用すれば十分な視力を得ています。

治療にはタイムリミットがあります
成長するにつれて視力の発達はスローダウンして6-8歳で完了します。治療開始のタイミングを逃すと、
思うように視力が上がらず、めがねやコンタクトレンズを使っても生涯十分な視力を得られないことがあります。



発達途中で
停滞していても、
今なら再スタートできます。

これは、脳は成長の速を
上げてあまり反応せず
視力が発達しにくくなります。

（自治体ごとに変更が可能なスペース）
問い合わせ窓口や精密検査費用（自治体からの助成について）
精密検査機関リストの掲載先など、ご自由にご記載ください。

令和4年度子ども・子育て支援政策実施状況報告書「3歳児健康診査における視覚検査の実施状況に関する調査結果」

啓発資料の活用を！

**Q 視力検査と屈折検査
両方必要でしょうか？**

視力検査と屈折検査は両方必要？

両方必要です！

視力→子どもからのアウトプット

脳の機能

屈折→屈折異常（遠視・近視・乱視）

眼球の状態

視力検査と屈折検査は両方必要です！

屈折検査**正常** 視力検査**不良**



眼科で両視神経萎縮



脳腫瘍！

屈折検査**異常** 視力検査**良好**



強い遠視



眼鏡が必要！

**Q 視力検査ができない時は
どうしたらよいのでしょうか？**

- 視力検査ができない子どもほど、眼鏡を必要とする率が高い

ダウン症候群	80～90%
ダウン症候群以外	40%

- 眼科を受診を勧めること！
視力検査ができなくても**屈折検査**ができれば眼鏡が必要かどうか判断できる

眼科の検査で弱視治療が必要と判断した場合視力検査できなくても**弱視治療を始めることができます！**

(参考) 視覚スクリーニング検査 Q&A

Q1: 屈折検査ができなかった (終了しなかった) 場合は?

A: **眼球内の病気が潜んでいる可能性**があるため、
眼科受診を勧める。

Q2: 1回目の屈折スクリーニングで異常値が出た場合は?

A: 顔を曲げたり横を向いていないか測定条件を確認し、
もう1回検査を行えるとよい。

少なくとも2回以上検査を行って眼科受診を勧めるか
判定することが望ましい。

Q3: 視力検査で異常あり、屈折検査では異常なしの場合は?

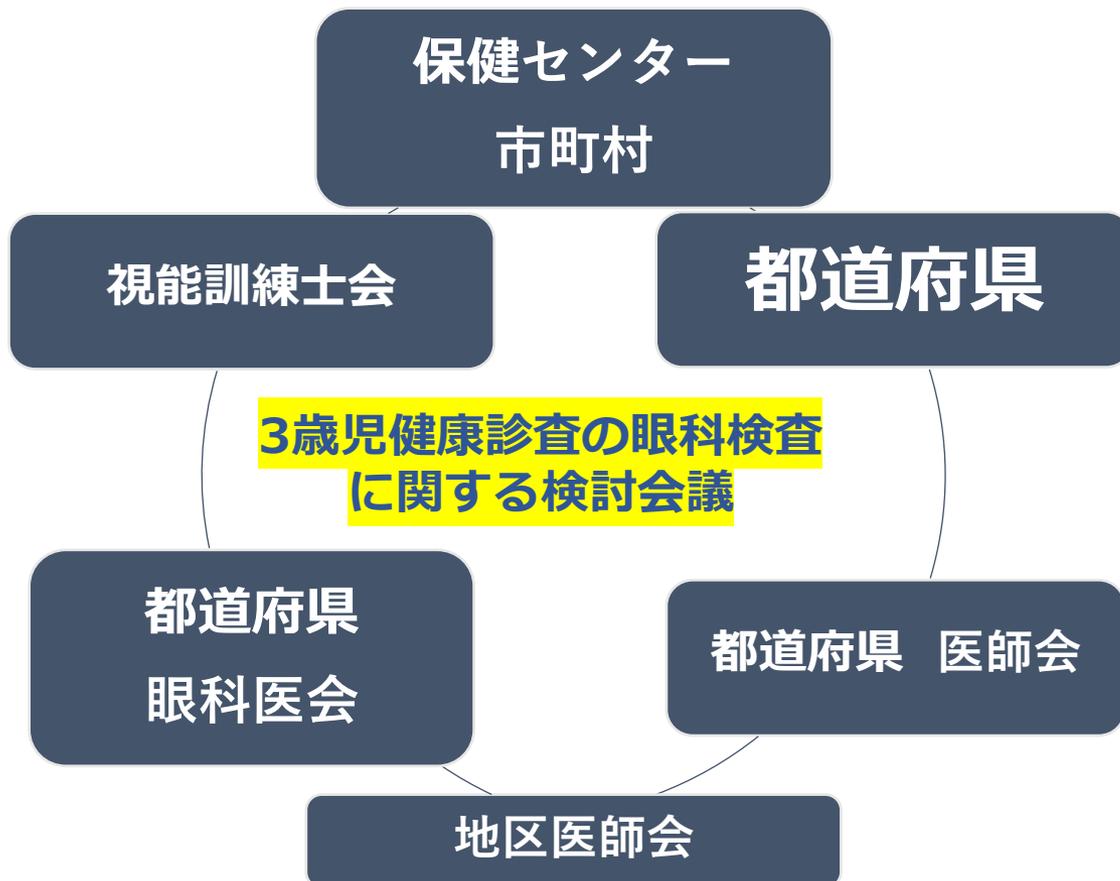
A: **眼疾患が潜んでいる可能性**があるため、眼科受診を勧める

今後 めざすべきこと

ストップ！ 弱視見逃し

誰一人取り残さない
包摂性高い
社会の実現

全員に屈折検査



保健師対象
眼科研修会開催

リアルタイムに乳幼児の健康状況を
把握して分析、修正、
フィードバックを繰り返すシステムを構築

自治体取り組み例

眼科精密検査結果の記入方法

精密検査結果報告書（眼科）

所見	視力・屈折値（測定不可の場合は斜線）					調節麻痺点眼 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		裸眼視力	矯正視力	球面度数	円柱度数	
	右	0.2	0.3	+6.00	-1.00	
	左	0.1	n.c	+7.00	-1.00	
その他所見						
診断名	1 屈折異常（弱視含まず） <input type="checkbox"/> 遠視 <input type="checkbox"/> 近視 <input type="checkbox"/> 乱視					
	2 斜視（弱視含まず） <input type="checkbox"/> 内斜視 <input type="checkbox"/> 外斜視 <input type="checkbox"/> 上下斜視 <input type="checkbox"/> その他					
	<input checked="" type="checkbox"/> 弱視 <input checked="" type="checkbox"/> 屈折異常弱視 <input type="checkbox"/> 不同視弱視 <input type="checkbox"/> 斜視弱視 <input type="checkbox"/> 形態覚遮断弱視					
	4 その他（ ）					
総合判定	1 異常なし					
	2 経過観察 <input type="checkbox"/> 弱視疑い <input type="checkbox"/> 定期検査が必要 <input type="checkbox"/> 検査不可 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
	<input checked="" type="checkbox"/> 要治療 <input checked="" type="checkbox"/> 眼鏡処方 <input type="checkbox"/> 眼鏡処方予定 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
	<input type="checkbox"/> 他施設紹介（紹介先）					
受診年月日			医療機関名			
西暦	年	月	日	医師名		

精密検査受診日	調節麻痺点眼の有無	矯正視力(右)	矯正視力(左)	屈折検査(右)		屈折検査(左)	
				球面度数	円柱度数	球面度数	円柱度数
	有	0.3	0.1	6.00	-1.00	7.00	-1.00

矯正視力n.c (non corrigunt) とは、裸眼視力と変化なしという意味であるため、**裸眼視力を記載**

診断名				診断名内訳										
				屈折異常内訳			斜視内訳				弱視内訳			
(屈折異常含まず)	(斜視含まず)	弱視	その他	遠視	近視	乱視	内斜視	外斜視	上下斜視	その他	屈折異常弱視	不同視弱視	斜視弱視	形態覚遮断弱視
		1									1			

総合判定			総合判定内訳									
			経過観察内訳					要治療内訳				
異常なし	経過観察	要治療	弱視疑い	定期検査	検査不可	その他	眼鏡処方	眼鏡処方予定	他施設紹介	その他治療		
		1					1					

3歳児健診視覚検査報告書の記入例

3歳児健診(一般)		視覚アンケート		視力検査			屈折検査		
対象者数	受診者数	異常あり	異常なし	異常あり	検査不可	異常なし	異常あり	検査不可	異常なし

二次検査の判定結果		
異常なし	要精密検査	治療中



精密検査総合判定		
異常なし	要観察	要治療

精密検査総合判定の合計は
”要精密検査”と同数になることが期待される
(精密検査受診率100%の場合)

精密検査で異常あり



精密検査で異常ありの診断名内訳			
屈折異常 弱視含まず	斜視 弱視含まず	弱視	その他



弱視の内訳			
屈折異常 弱視	不同視 弱視	斜視弱視	形態覚 遮断弱視

※二次検査で「経過観察」のままにしない

視力検査や屈折検査不可など、
再検査や精密検査が必要な場合でも、
「経過観察」とされるケースがある。

市町村 → 都道府県 → 国でデータ集計

まとめ

- 視力は脳の機能
屈折（遠視・近視・乱視）は眼球の状態
- 視力発達は6-8歳頃まで
- 弱視の発症は50人に1人
- 3歳児眼科健診で弱視をきちんと発見したい
- 弱視発見には3歳児眼科健診で視力検査と屈折検査をすることが大切
- 都道府県で検討会設置、精度管理が望まれる

その「見える」は……

あそこに鳥さんがいるね
(視力1.0イメージ)

見える?

見える
(視力0.3イメージ)

同じように見えているとは限らない……

もしかして弱視かも?

治療にはタイムリミットがあります!

弱視とは、視力の成長が停止しているために、メガネやコンタクトレンズを使っても視力が悪い状態をさします。
幼児の場合、くっきりと見えていなくても「見える」と言います。調べてみなくては、弱視かどうかわかりません。
3歳児健診で発見され治療を始めたら、ほとんどの弱視は治すことができます。

視力発達が停滞していても3~4歳なら再スタートできます!

早期治療で弱視が治ったよ!

視力1.0~

視力0.6~0.9

6~8歳以降は治療をしても視力が発達しにくくなります

ぼんやり

視力の発達イメージ

0カ月 3歳 5歳

はくもつ! 6歳で視力1.0

こどもの弱視を見逃さないために

3歳児健診で弱視の有無を検査しましょう!



未来を担う子供たちが
健やかな人生を送れるよう

3歳児健診に

屈折検査を導入し

関係機関が協働して

精度管理を行おう！

すべての子供に視覚障害克服のチャンス



©慈恵医大/Crevo

STOP！弱視見逃し

ご清聴誠にありがとうございました